



# 共生社会システム学会ニューズレター The Association for Kyosei Studies News letter

2022年8月29日発行 第29号

## 目 次

1. 2022年大会（東京大学）の開催について（第3報）	1
2. 2022年度第6～8回運営委員会 議事概要の報告	3
3. 編集委員会からのおしらせ	4
4. 運営委員会事務局だより	5
5. 2022年大会 個別報告プログラム	別紙

## 1. 2022年大会（東京大学）の開催について（第3報）

2022年大会（東京大学）を、以下の要領で開催いたします。今大会は、昨年に引き続きオンラインでの開催に変更します。参加費は無料です。懇親会はありません。

参加者の把握のため、参加者は以下のページから必ず事前登録をお願いします。

オンライン登録用ページ

<https://forms.gle/ErRyvsjpcck3yB1fVA>

- ・ 日程：2022年9月17日（土曜日）
- ・ 会場：オンライン
- ・ 参加費：無料

・ プログラム

- 9:00～12:00 一般報告，会員企画ワークショップ  
詳細プログラムは本ニューズレターの最後を見てください。
- 12:00～13:00 理事会
- 13:00～14:00 総会

変質する資本主義と共生社会形成の担い手  
—世界経済、環境・農業・協同の位相変化と地域再生への課題—

座長：古沢広祐（國學院大學）

第1報告：（全体状況分析としての特別報告）

変質する現代資本主義の行方 —構造変化と環境・資源・格差問題の動向—（40分）

報告者：諸富徹（京都大学）

コメンテーター：市原あかね（金沢大学）

第2報告：

新自由主義的食料安全保障の破綻とパラダイム転換 —世界農業化路線から国民的農業路線へ—（40分）

報告者：磯田宏（九州大学）

コメンテーター：秋山満（宇都宮大学）

第3報告

共生社会システムに向けた「担い手」の広がり と 連携課題 —協同組合セクター、アソシエーション、社会的連帯経済—（40分）

報告者：田中夏子（長野県高齢者生活協同組合理事長・協同総合研究所理事）

コメンテーター：武谷嘉之（大阪樟蔭女子大学（非））

（企画主旨）

21世紀に入り、同時多発テロ（2001年）、世界金融危機（リーマンショック,2008年）、東日本大震災（原発災禍を含む,2011年）、コロナ危機（2020～）、ウクライナ危機（2022～）、激震と呼ぶべき事態が続いてきた。従来の枠組みが大きく揺らぎ出しており、私たちは将来を見通しがたい時代に入りつつあるかにみえる。

本学会ではこの2年間、「ポスト新自由主義のビジョン」をテーマに、パンデミックから見える世界（2020年）、コロナ禍後の社会と共生（2021年）とシンポジウムを企画してきた。この間、上記の深刻な事態を受けて、資本主義自体の変質や問い直しが急浮上している。岸田政権が唐突に「新しい資本主義」を掲げたのだが、内実が見えない絵空事のような印象を与えている。改めて「変質する資本主義」の見極めが重要であり、ポスト新自由主義時代の展望を探るには、時代の仕切り直し的な分析視点が求められている。

今年度のシンポジウムでは、大きく3つの柱立てで構成される。

第1報告では、大きなマクロ的視点から資本主義の変質状況にメスをいれる。産業資本主義時代は終わり、資本主義の駆動力が従来のハードな産業資本から無形資産に移行してきた。資本主義経済の非物質主義的な展開について、脱炭素化対応（環境）、格差（デジタル経済化）、社会的投資・人的投資に関して、日本の問題点と課題などが提示される。（第1報告は、全体状況分析として特別報告の位置づけ）

第2報告では、従来の経済のグローバル化状況が大きく揺らぎだす時代の中で、日本社会を支える根幹にあった食料安全保障の体制が次第に変質してきている。そうした状況に関して、その背景や課題、展望についてとくに食料・農業政策を中心にして、日本社会や経済のあり方への問題提示がなされる。

第3報告では、変質する資本主義における対抗セクターとしての協同組合セクター、アソシエ

ーション、社会的連帯経済の内外の動向が概観される。さらに超高齢化や地域衰退が懸念されている日本に関して、共生社会システムの「担い手」の広がりという視点からも現状や諸課題について課題提示される。

短時間のシンポジウムなので、大テーマを十分に掘り下げる余裕はないものの、混迷と矛盾が極まるかに見える現在の資本主義社会について、まずはその変質状況を浮かび上がらせたい。そして、共生社会に向かうための転換の契機をどこに見出すか、どのような担い手が求められるか、その手がかりについて、報告者、コメンテーター、そして参加者と共に議論していきたい。

---

## 2. 2021年度第6回～第8回運営委員会 議事概要の報告

### 2021年度第6回運営委員会

日時：2022年5月15日（日） 15:40～18:00

場所：東京農工大学府中キャンパス2号館320号室＋オンライン

出席者：矢口、古沢、荒木、桑原、岡野、吉田、新井、稲村

議事：

#### 1. 入退会について

退会者1名、逝去者1名、現在の会員数報告

#### 2. 学会体制の整備について

理事継続アンケートの結果に基づいて、対応を議論した。今期限りを希望している理事が10名に上っているので、新しい理事の選任方法について議論した。6月末までには新理事候補の名簿を作成し、現理事会の審議を求めることとした。

#### 3. その他

会長から発案された「学会の会員拡大・体制強化等に向けて」文書について、運営委員から意見を聴いた後に現理事にメール送付する。

### 2021年度第7回運営委員会

日時：2022年6月9日（木） 18:00～20:00

場所：オンライン

出席予定者：矢口、荒木、古沢、市原、吉田、新井、岡野、桑原

議事：

#### 1. 入退会について

入会2名、退会1名を承認した。

#### 2. 学会体制の整備について

2022年度の理事・監事（予定）者について意見交換し、予定者の方々から内諾を得たことが報告された。正式には9月17日に予定されている総会で次期理事を選出して次期体制を発足させる。引き続き、次期会長・副会長・正副運営委員長・正副編集委員長の立候補を募ることとした

### 2021年度第8回運営委員会

日時：2022年7月17日（日） 16:00～19:00

場所：オンライン

出席者：矢口、荒木、古沢、吉田、新井、岡野、桑原

議事：

1. 入退会について

3名の入会を承認した。

2. 新役員（次期会長等8名）の推薦について

次期会長・副会長・正副運営委員長・正副編集委員長について意見交換し、予定している方々から内諾が得られたことが報告された。予定者につき、現理事および次期理事予定者に承認を求めることとした。

3. 名誉会員の会費の取り扱い並びにシニア会員の創設について審議し、名誉会員の会費は正会員と同額とすることとした。あわせて3名について総会で名誉会員に推薦することとした。シニア会員制度については、他学会の情報を収集し、それも参考にしながら引き続き検討することとした。

4. 2022年度大会シンポ・総会の準備状況について

一般報告10件、企画ワークショップ1件のプログラム案を確認した。

---

### 3. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ

『共生社会システム研究』第17巻への投稿原稿を募集します。ふるってご投稿下さい。

締切日は2022年11月1日（月）です。締切日を過ぎた投稿については、原則、次巻（第18巻）掲載の原稿として取り扱いますので、あらかじめご承知おき下さい。

投稿にあたっては、指定のフォーマットを使って原稿を作成していただきます。このことを含め、当学会ウェブサイトに掲載された投稿規定、執筆要領をよく読んで原稿を作成し、投稿してください。

原稿の送り先：

東京農工大学工学部知能情報システム工学科

『共生社会システム研究』編集委員長 岡野一郎

E-mail: i-okano☆cc.tuat.ac.jp （☆を@に変えて送信してください）

---

#### 4. 運営委員会事務局だより

ニュースレター29号をお送りします。

会費の請求書がお手元に届きましたら、2022年度会費の納入をお願いいたします。会費は、一般会員 6,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員 20,000 円となっております。よろしくお願ひ申し上げます。2021年度以前の会費を未納の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第29号 2022年8月29日発行

編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学研究院 吉田 央研究室 気付

TEL: 042-367-5588 E-Mail: HALLA@cc.tuat.ac.jp

郵便振替 00130-6-372850 (加入者名) 共生社会システム学会